

報道関係各位

三井不動産株式会社
東京ミッドタウンマネジメント株式会社

“芸術の秋”、六本木・東京ミッドタウンにデザインイベントが集結！

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2010」

～「アルスエレクトロニカ」とのコラボレーションで、体験型デザインを多数展示～

10月28日(木)～11月3日(水・祝)

東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、平成 22 年 10 月 28 日(木)から 11 月 3 日(水・祝)まで、デザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2010」(東京ミッドタウン デザインタッチ 2010)を開催いたします。

東京ミッドタウンは、生産型社会から創造型社会に転換が進む日本経済において、“デザイン”が日本の国際競争力の源泉として重要であると考えています。「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」は、その“デザイン”が私たちの生活をより楽しく、より豊かにするという考え方のもと、インテリアやグラフィックはもちろん、音楽など文化を形づくる全てのものを“デザイン”にとらえ、「デザインを五感で楽しむ」をマスターコンセプトに、2007 年より開始。国内外の優れたデザインや、その価値を紹介する「未知なるデザインと出会う場」として、さまざまなイベントを開催してきました。

今年のテーマは、「未来の手ざわり」。

4 回目となる今年は、世界的に名高いインタラクティブ・アートの文化機関である「アルスエレクトロニカ」(オーストリア・リンツ市)とコラボレートし、デザインとテクノロジーの融合から生まれた“未来”を感じられる作品を展示。会場には、見るだけでなく、実際に参加できるワークショップや、作品に触れて楽しめる体感型デザインを集めます。

また会期中、才能あるデザイナーやアーティストとの出会い・応援を目指したアート・デザインのコンペティション「Tokyo Midtown Award 2010」の受賞作品発表や、第一線で活躍するクリエイター・アーティスト・デザイナーによる講演、2010 年度グッドデザイン賞受賞デザインを展示する「GOOD DESIGN EXHIBITION」等、様々なデザインイベントを実施。さらに、今年も「DESIGNTIDE TOKYO」がミッドタウン・ホールで同時開催されるなど、六本木・東京ミッドタウンには、多くのデザインイベントが集結します。

期 間:10月28日(木)～11月3日(水・祝)
場 所:東京ミッドタウン内 各所
主 催:東京ミッドタウン
協 賛:セイコーエプソン株式会社
協 力:東京ミッドタウン・デザインハブ

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH

2010.10.28.-11.3.
未来の手ざわり

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2010」 主なラインナップ

■ DESIGN TOUCH Exhibition 未来のつくりかた展 / 10月28日(木)～11月3日(水・祝)

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2010」のメインコンテンツであり、デザインとテクノロジーの融合から生まれる“未来”を感じられるイベント。「アルスエレクトロニカ」とのコラボレーションによって、東京ミッドタウンに最先端のデザインが集結。誰もがクリエイティブになり、社会とのつながりを豊かにする。そんな「未来のつくりかた」を提案します。

■ DESIGN TOUCH Conference / 10月30日(土)、31日(日)

各分野の第一線で活躍するクリエイター・アーティスト・デザイナーのアイデアや制作秘話を間近で聞くことができる講演、メソッドを体感しながら学べるワークショップなど、様々な企画を実施します。

デザインの舞台裏を知ること、街で見かける商品やデザインが新しい視点で見えてくるかもしれません。

■ Tokyo Midtown Award 2010 受賞作品発表・展示 / 10月28日(木)～11月3日(水・祝)

コンセプトである“「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”を目指す活動の一環として、今年で開催3回目を迎えた「Tokyo Midtown Award」。今年も<アートコンペ><デザインコンペ>の2部門を設け、次世代を担うアーティスト・デザイナーを発掘・応援を目指し、幅広く作品を募集しました。<アートコンペ><デザインコンペ>総計1711点の応募作品の中から、計12作品を選出。「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」期間中に、受賞作品の発表、展示、授賞式を実施します。

■ SMART CANVAS × 8 “時ってなんだろう？”8人のクリエイターによる、新しい時の感じ方。 / 10月28日(木)～11月3日(水・祝)

セイコーエプソンが開発した電子ペーパーの腕時計を素材に、各分野の第一線で活躍している8人のクリエイターが、それぞれの感性で新しい時の表現を提案します。会場ではクリエイターによって創作された8作品の展示ならびにデモンストレーションを行い、個性豊かな“時のデザイン”を楽しめます。

東京ミッドタウン デザインイベント エリアマップ

「DESIGN TOUCH Exhibition」

10/28(木)～11/3(水・祝)
アトリウム(ガレリア B1F)

【→p4～p5】

「DESIGN TOUCH Conference」

10/30(土)～10/31(日)
ミッドタウン・カンファレンス
(ミッドタウン・タワー4F)

【→p6】

「GOOD DESIGN EXHIBITION」

10/8(金)～12/5(日)
東京ミッドタウン・デザインハブ
(ミッドタウン・タワー5F)

【→p10】

「佐藤雅彦ディレクション “これも自分と認めざるをえない”展」

開催中～11/3(水・祝)
21_21 DESIGN SIGHT

【→p10】

「DESIGN TIDE TOKYO」

10/30(土)～11/3(水・祝)
ミッドタウン・ホール

【→p10】

「INADA Stone Exhibition 東京ミッドタウン展 vol.4」

「JAGDA Kawara Exhibition 2010」

10/22(金)～11/3(水・祝)
ミッドタウン・ガーデン

【→p9】

「SMART CANVAS × 8

“時ってなんだろう？”

8人のクリエイターによる、新しい時の感じ方。」

10/28(木)～11/3(水・祝)

ガレリア B1F

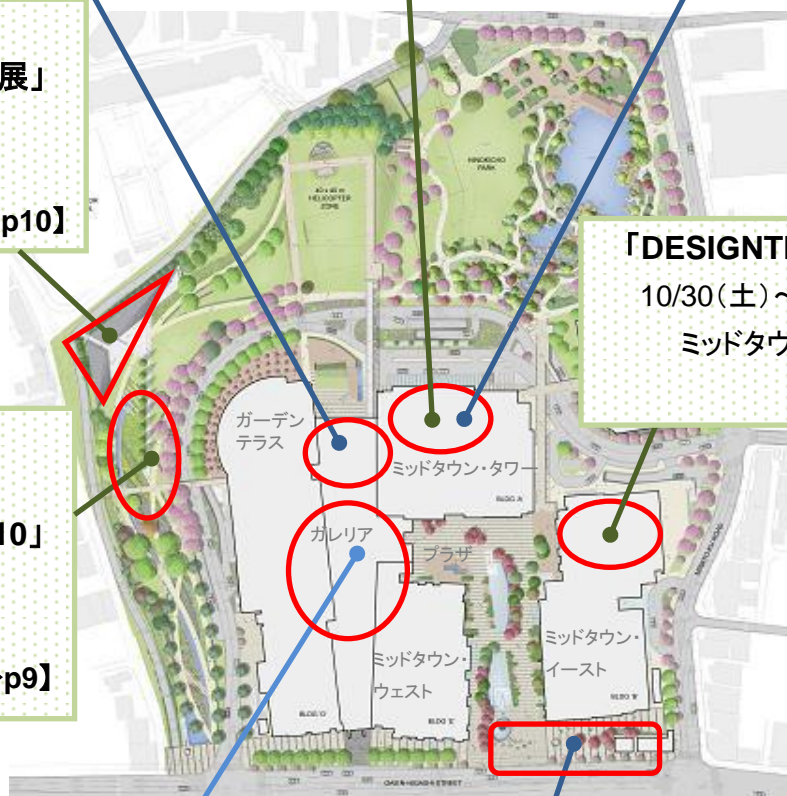
【→p8】

「Tokyo Midtown Award 2010 受賞作品展示」

10/28(木)～11/3(水)

プラザ B1F メトロアベニュー

【→p7】



- Tokyo Midtown DESIGN TOUCH
- Tokyo Midtown DESIGN TOUCH
会期中の同時開催イベント

DESIGN TOUCH Exhibition (デザインタッチ エキシビション) 未来のつくりかた展

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2010」のメインコンテンツであり、デザインとテクノロジーの融合から生まれる“未来”を感じられるイベント。「アルスエレクトロニカ」とのコラボレーションによって、東京ミッドタウンに最先端のデザインが集結。誰もがクリエイティブになり、社会とのつながりを豊かにする。そんな「未来のつくりかた」を提案します。

<ポイント>

✓ アルスエレクトロニカとのコラボレーション

世界的に名高い、メディアアートに関する文化機関「アルスエレクトロニカ」の『フューチャーラボ』(アーティスト・研究者などの専門家による未来研究所)を中心に、最先端のデザインが集結します。

✓ アルスメンバーによるワークショップを開催

『フューチャーラボ』のメンバーによるインタラクティブデザインを体験できる、スペシャルワークショップに参加いただけます。

✓ 最先端デザインの“体験型”作品を多数展示

世の中が抱える問題の解決策を自分の影の形で表現したり、目の動きをトラッキングすることで絵を描くソフトなど、デザインとテクノロジーの融合から生まれる“未来”を感じられる作品を展示。実際に会場で体験いただくことができます。

- 期 間: 10月28日(木)～11月3日(水・祝)
- 時 間: 11:00～21:00
- 場 所: ガレリア B1F アトリウム
- 料 金: 入場無料
- 主 催: 東京ミッドタウン
- 協 力: アルスエレクトロニカ

【参考】

アルスエレクトロニカ(ARS ELECTRONICA)とは

オーストリア・リンツを本拠地とする、メディア・アートの文化機関「アルスエレクトロニカ」。研究・展示の場としてセンターを運営する他、国際的なアワードを主催する等、30年以上に渡って、アートとテクノロジーの可能性を追求し続けています。

中でも、アルスのクリエイティブの核である「フューチャーラボ」は新しいアイデアを現実社会で実装し、未来を提案するミッションを担い、様々な専門性を持ち合わせた学術的なチームにより、様々なプロジェクトを実現しています。また、毎年開催されるアワード「プリ・アルスエレクトロニカ」では、音楽・美術・パフォーマンスから、WikipediaのようなWebサービスまで、社会を変えるパワーを持つ多様な作品が選出されており、日本においても、坂本龍一・岩井俊雄を始めとする日本人アーティストの受賞や、今年春に行われた東京都現代美術館での回顧展開催等が話題となりました。



▲アルスエレクトロニカ・センター
Nicolas Ferrando, Lois Lammerhuber

<歴史>

- 1979年 アルスエレクトロニカ・フェスティバル スタート
- 1987年～ 「アルスエレクトロニカ賞」を主催し、テクノロジーアートに革新をもたらした者を表彰
- 1996年 メディアセンターや博物館としての機能を持つ「アルスエレクトロニカ・センター」を設立
「フューチャーラボ」設立
- 2009年 新「アルスエレクトロニカ・センター」完成、オーストリア・リンツが欧州文化都市に指定される
- 2010年2月 東京都現代美術館で「サイバーアーツジャパンーアルスエレクトロニカの30年」開催

【主な展示作品】

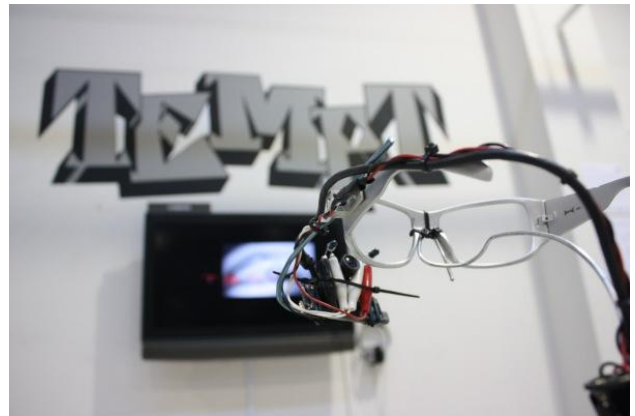
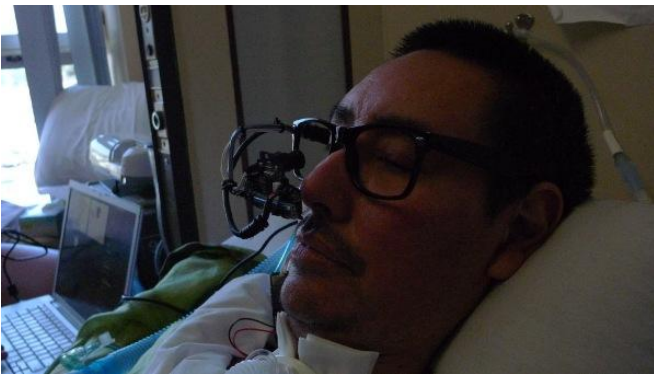
■ The EyeWriter (アイライター)

目の動きをトラッキングすることで、画面上に絵を描き出す仕組み。

その誕生のきっかけは、全身麻痺となった青年の「再び絵を描きたい」という夢でした。

技術者、アーティストを始め、多くの人々の協同による、このプロジェクトは、2010年プリ・アルスエレクトロニカ、インタラクティブ・アート部門で、最も権威のある「ゴールデン・ニカ賞」を獲得。

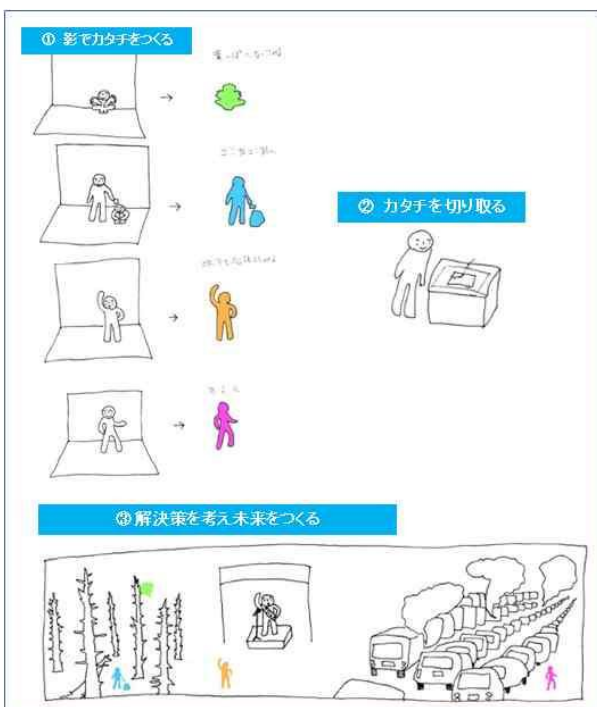
テクノロジーを障害者の方のクリエイティビティの表現に役立てる感動的なプロジェクトは、世界中の注目を集めることとなりました。



■ Shadowgram (シャドウグラム)

アルスエレクトロニカ・フューチャーラボによる、今回の展示のために制作されたオリジナル作品。

世の中が抱える問題(環境問題など)が描かれた大きなキャンバスに、ペーパークラフトを張っていくことで、完成する巨大オブジェ。『キャンバスの中に描かれている問題点の解決策を考える』→『そのアイテムを自分の影で表現する』→『自分の影でペーパークラフトをつくる』→『キャンバスにペーパークラフトを貼る』。この一連の流れの中で、「何が問題の解決策になるか?」「どんな未来をつくりたいか?」を楽しみながら考えることができる、誰もが参加できる作品です。



DESIGN TOUCH Conference (デザインタッチ カンファレンス)

期間中、各分野の第一線で活躍するクリエイター・アーティスト・デザイナーのアイデアや制作秘話を間近で聞くことができる講演、メソッドを体感しながら学べるワークショップなど、様々な企画を実施します。デザインの舞台裏を知ること、街で見かける商品やデザインが新しい視点で見えてくるかもしれません。

- 期 間: 10月30日(土)~10月31日(日)
- 場 所: ミッドタウン・タワー4F カンファレンス
- 講 師: 青木克憲、日高英輝、永井一史、松下計、森本千絵、ゲルフリート・ストッカー (アルスエレクトロニカ ディレクター)、ホースト・ホートナー(アルスエレクトロニカ フューチャーラボ所長) 他
- 料 金: 無料(一部有料)
- 参加方法: 事前予約制
※予約受付は、9月9日(木)より DESIGN TOUCH の Web サイト (<http://www.tokyo-midtown.com/jp/designtouch/2010/>) で開始します。
- 主 催: 東京ミッドタウン
- 協 力: 東京ミッドタウン・デザインハブ 他

【講師一覧】



青木克憲(あおき かつのり)



日高英輝(ひだか えいき)



永井一史(ながい かずふみ)



松下計(まつした けい)



森本千絵(もりもと ちえ)



ゲルフリート・ストッカー
(アルスエレクトロニカ
ディレクター)



ホースト・ホートナー
(アルスエレクトロニカ
フューチャーラボ所長)

Tokyo Midtown Award 2010 受賞作品発表・展示

コンセプトである“「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”を目指す活動の一環として、今年で開催3回目を迎えた「Tokyo Midtown Award」。今年も<アートコンペ><デザインコンペ>の2部門を設け、次世代を担うアーティスト・デザイナーを発掘・応援を目指し、幅広く作品を募集しました。



<アートコンペ><デザインコンペ>総計 1711 点の応募作品の中から、計 12 作品を選出。「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」期間中に、受賞作品の発表、展示、授賞式を実施します。

■ Tokyo Midtown Award 2010 受賞作品発表・展示

【発表】 10月28日(木)

展示会場および東京ミッドタウンオフィシャルサイトにて

【展示】 10月28日(木)～11月3日(水・祝)

プラザ B1F メトロアベニュー展示スペース

※以降約半年間展示します(広告掲出期間を除く)

※一般投票で人気作品を選出する「オーディエンス賞」も実施します

【料金】 無料



昨年の展示の様子 ▲

■ Tokyo Midtown Award 2010 授賞式

【日程】 11月2日(火)16:00～17:30

【場所】 プラザ B1F アート作品「意心帰」周辺



2008年のデザインコンペから生まれた人気商品「富士山グラス」 ▲

Tokyo Midtown Award 2010 概要

応募資格: 個人またはグループ、国籍不問(審査期間、展示準備期間に日本在住または滞在していること)、応募書類提出時点で39歳以下の方

賞金: 総額815万円(制作補助金含む)

主催: 東京ミッドタウン

<アートコンペ>

審査員: 児島やよい、清水敏男、土屋公雄、中山ダイスケ、八谷和彦

協力: TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE

テーマ: 「JAPAN VALUE」～ガラスケースへの挑戦～

2次審査を通過した4作品を、期間中プラザ B1F メトロアベニューに展示。その中から、グランプリ、準グランプリ(各1点)、佳作(2点)を選出します。

<デザインコンペ>

審査員: 小山薫堂、佐藤卓、柴田文江、原研哉、水野学

協力: 東京ミッドタウン・デザインハブ

テーマ: 「On the Green」

グランプリ、準グランプリ、佳作(各1点)、審査員特別賞(5点)を選出します。受賞作品は、商品化サポートもいたします。

昨年の受賞作品・概要については、以下のWEBサイトをご参照ください。

<http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>

<特別協賛イベント>

SMART CANVAS ×8 “時ってなんだろう？” 8人のクリエイターによる、新しい時の感じ方。

「“時ってなんだろう？” 8人のクリエイターによる、新しい時の感じ方。」と題し、セイコーエプソンが開発した電子ペーパーの腕時計を素材に、各分野の第一線で活躍している8人のクリエイターが、それぞれの感性で新しい時の表現を提案します。

会場ではクリエイターによって創作された8作品の展示ならびにデモンストレーションを行い、個性豊かな“時のデザイン”を楽しめます。

※イベントについての詳細は SMART CANVAS の WEB サイト(<http://www.smartcanvas.jp>)をご覧ください

- 【期 間】 10月28日(木)～11月3日(水・祝)
- 【時 間】 11:00～21:00(予定)
- 【場 所】 ガレリア B1F 特設会場
- 【料 金】 無料
- 【主 催】 セイコーエプソン株式会社
- 【協 力】 株式会社アクシス

参加クリエイター:

- ・紫舟 (書家)
- ・廣村正彰 (グラフィックデザイナー)
- ・DRAFT 植原亮輔+渡邊良重 (アートディレクター)
- ・中村勇吾 (インターフェースデザイナー)
- ・WOW (Visual design studio)
- ・横山裕一 (漫画家)
- ・木野鳥乎 (イラストレーター/絵本作家)
- ・谷川俊太郎 (詩人)



その他、期間中に行われるデザインイベント

■ INADA Stone Exhibition 東京ミッドタウン展 vol.4 (イナダ ストーン エキシビション)

日本を代表するグラフィックデザイナー団体 JAGDA と石工技術者とのコラボレーション。デザイナーの感性を生かし、日本有数の最高級ブランド石材、稲田御影石(産出地:茨城県笠間市)の新たな魅力を創出します。

- 【期 間】 10月22日(金)～11月3日(水・祝)
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン通路
- 【料 金】 無料
- 【参加作家】 浅葉克己、勝井三雄、佐藤可士和、永井一史、松永真、森本千絵 他
- 【主 催】 社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)茨城
稲田石材商工業協同組合
- 【協 力】 東京ミッドタウン



昨年の展示の様子

■ JAGDA Kawara Exhibition 2010 (ジャグダ カワラ エキシビション)

古代より受け継がれてきた茨城県の八郷瓦を、日本を代表するグラフィックデザイナーがデザイン。日本古来の建築資材である瓦の魅力を伝え、地場産業の復興を図ります。グラフィックデザイナー自身が瓦の彫刻を手がけるという意欲作に注目です。

- 【期 間】 10月22日(金)～11月3日(水・祝)
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン通路
- 【料 金】 無料
- 【参加作家】 青木克憲、古平正義、新村則人、松下計 他
- 【主 催】 社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)茨城
- 【特別協力】 八郷瓦文化の会
- 【協 力】 東京ミッドタウン
- 【後 援】 茨城県工業技術センター窯業指導所
「匠工房・笠間」



昨年の展示の様子

■ GOOD DESIGN EXHIBITION 2010 (グッドデザイン・エキシビション)

1957年に創設された「グッドデザイン賞」は、産業の発展とくらしの質を高めるデザインを見出し広く伝える活動をしています。この展示では9月に発表された最新のグッドデザイン賞受賞デザインをご紹介します。

- 【期 間】 10月8日(金)～12月5日(日)
- 【時 間】 11:00～19:00
- 【場 所】 東京ミッドタウン・デザインハブ(ミッドタウン・タワー5F)
- 【料 金】 無料
- 【主 催】 東京ミッドタウン・デザインハブ
- 【企画・運営】 財団法人日本産業デザイン振興会



▲ 昨年の展示の様子

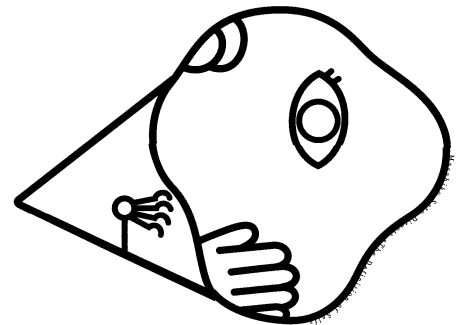
※休館日などの詳細は東京ミッドタウン・デザインハブのWEBサイト
(<http://www.designhub.jp>)をご覧ください

■ 佐藤雅彦ディレクション “これも自分と認めざるをえない”展

表現研究者の佐藤雅彦氏をディレクターに迎え、「自分」を形づくる要素を探る作品を通して自分自身の「属性」を発見する企画展。

インタラクティブな映像や最先端のテクノロジーを駆使した新作と、佐藤雅彦選出による招待作品を紹介し、「自分らしさ」や「個性」について来場者とともに新たな視点を思索していきます。

- 【期 間】 開催中～11月3日(水・祝)
(火曜休館、但し11月2日は開館)
- 【時 間】 11:00～20:00(最終入場は閉館30分前まで)
- 【場 所】 21_21 DESIGN SIGHT
- 【料 金】 一般1,000円、大学生800円、中高生500円
小学生以下無料



※詳細は21_21 DESIGN SIGHTのWebサイト
(<http://www.2121designsight.jp/>)をご参照ください

■ DESIGN TIDE TOKYO 2010(デザインタイトーキョー)

常に新しいものやシーンを提案するトレードショーとして、今年で6年目を迎えるデザインイベント。

インテリアやプロダクトの商材を中心にしながら、デザインに焦点を当てた幅広い分野の厳選された作品が集結します。同時に、真摯なものづくりを続ける作家たちの新たなアイディアの切り口を、東京から世界に向けて発信するためのエキシビションとしての側面も併せ持っています。

- 【期 間】 10月30日(土)～11月3日(水・祝)
- 【時 間】 11:00～21:00
(最終入場時間20:30/最終日は17:00閉場 [予定])
- 【場 所】 ミッドタウン・ホール(メイン会場)
- 【料 金】 1,000円

※詳細はDESIGN TIDE TOKYOのWebサイト(<http://www.designtide.jp/10/>)
をご参照ください

